

「葛西臨海公園オリンピック問題の報告と御礼」

日本野鳥の会東京・代表 川沢祥三

2015年3月、この会報が出るころには2020年東京オリンピック組織委員会からIOCへの開催基本計画提出も済み、大会準備がワンステップ進んでいることと思います。葛西臨海公園のオリンピック・カヌー・スラローム競技場建設計画については、舛添都知事が昨年11月19日の都議会特別委員会で「公園整備の歴史的背景や公園の自然環境に配慮し、公園に隣接する都有地を活用して施設を配置する」と明言し、建設地の変更が確定しました。葛西臨海公園の大切な自然環境が守られ、私たちの要望に沿った形で決着がなされたことを大いに喜びたいと思います。



2012年8月に東京都と招致委員会あてに最初の要望書を提出してから約2年半、会員の皆様のたくさんのご支援が当会の取組みを支え、前進させる原動力となりました。署名集めにご尽力くださった方々、シンポジウムや集会に参加してくださった方々、カフェでのトークイベントを企画・実行してくださった方々など、紙面に書き尽くせないほどの数々のご支援をいただきました。ここに皆様へ心からの御礼を申し上げます。

私たちは10回に及ぶ東京都との話合いで、葛西における人と自然の歴史、また人が自然とふれ合う中で育まれる文化の大切さを訴えてきました。一方、スポーツ振興を仕事とする先方の立場を尊重し、「自然」と「スポーツ」の両方を満足させる代案を共に探そうではないか、という立場で意見・提案を述べてきました。昨年12月の話合いの席では、相手をむやみに攻撃することなく紳士的な雰囲気の中で毎回の話合いが行なわれたことについて、私たちと相手方がお互いにお礼を述べ合うという場面がありました。今までの取組みを振り返ればいろいろな出来事があり、その中には今後の活動の参考となる貴重な経験もあるはずです。これらを記録として残し、活用していければと考えています。

最後に、今回の活動の中で私の印象に残っているいくつかの言葉を挙げて、本稿を終えたいと思います。



●「私たちはオリンピックの東京招致に反対するものではありません。(中略)葛西臨海公園へのカヌー競技場建設には反対し、都または区の遊休地など別の適した場所への計画変更を求めます」

… (2012年8月・

東京都と招致委員会あての要望書)

●「野鳥の会の方々が反対している中で、無理やり公園にブルドーザーを入れるようなことはしたくない」

… (2012年11月・東京都との話合いにおける先方課長の発言)

●「Welcome IOC Evaluation Committee！」

… (2013年3月・IOC評価委員が葛西臨海公園を視察した際の手書きアピールポスター1枚目)

●「生態系の維持・向上が目的であって、カヌー競技場建設計画の阻止が目的ではない」

… (2013年10月・報告会にご参加の方からメールでいただいたご意見)

●「私たちの意見について良くお考え願いたい、できれば頭で考えるのではなくハートで考えていただきたい」

… (2014年4月・東京都との話合いにおける当会幹事の発言)